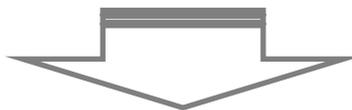


第3章 地域包括ケアシステム構築のための重点的な取組

地域の医療・介護の資源の把握（第6期計画P45）

【計画内容】

- 地域の医療機関、介護事業者等の所在地、連絡先、機能等を把握し、リスト又はマップを作成し、活用する。



【事業実績】

- 地域の医療機関、介護事業所等の住所、連絡先、機能等を把握し、これまでに把握している情報と合わせて、「高齢者お助けかわら版」を作成し、全戸配布した。
「高齢者お助けかわら版」を地域の医療・介護関係者と共有したほか、滝川市のホームページに掲載し、随時更新した。

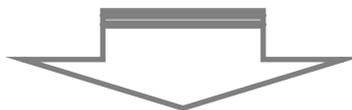
【課題等】

- 新規事業所や企業の情報収集を行い、迅速に対応できる体制を要する。

在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討（第6期計画P45）

【計画内容】

- 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、対応策等の検討を行う。



【事業実績】

- 滝川市在宅医療介護連携推進会議を平成28年度から年4回開催した。
※会議参加者：医師会、歯科医師会、薬剤師会の3師会代表と地域の病院、クリニック、訪問看護ステーション、介護サービス事業所、老人保健施設、市（作業療法士、歯科衛生士、保健師、事務職）のほか、平成28年度は保健所がオブザーバーとして出席した。
- 既存の情報やデータ、在宅医療・介護連携に関する既存の取り組みの集約・整理を行い、各分野から連携に関する事例検討を行う中で、課題・ニーズの抽出・共有を図った。

【課題等】

- 会議で抽出された課題についての対応策等の検討・実施を行う体制構築を要する。

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進（第6期計画P45）

【計画内容】

- 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指した取組を行う。



【事業実績】

○各病院の連携室等を通じた退院調整会議や入院時等の相談を随時実施した。

【課題等】

○入退院時における連絡・調整がさらにスムーズに行えるような関係機関等における連携の体制構築を要する。

医療・介護関係者の情報共有の支援（第6期計画P45）

【計画内容】

○情報共有の手順等を定めた情報共有ツールを整備し、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。



【事業実績】

○滝川市立病院と介護事業所間の入退院時情報提供書（プルダウン方式）を作成した。
滝川市外の病院については滝川保健所主催の広域会議にて、情報収集の予定である。

【課題等】

○引き続き医療機関・介護事業所間の情報共有について検討を要する。特に市外における医療機関との情報共有ツールについての検討を要する。

在宅医療・介護連携に関する相談支援（第6期計画P45）

【計画内容】

○地域の在宅医療・介護の連携の支援する相談窓口の運営を行い、在宅医療・介護サービスに関する相談の受付、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整、患者等の要望を踏まえ地域の医療機関・介護事業者相互の紹介などを行う。



【事業実績】

○従前から相談業務を行っている滝川市地域包括支援センター及び滝川市立病院地域医療室を相談窓口と位置付けした。

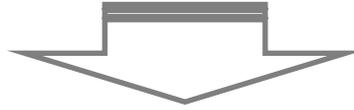
【課題等】

○相談機関の周知徹底を要する。
○医療関係者は介護についての知識を、介護関係者は医療についての知識を深め、相互理解の上でさらなる連携を図るため、研修会等の検討・実施を要する。

医療・介護関係者の研修（第6期計画P45）

【計画内容】

- 多職種でのグループワーク等の研修、地域の医療関係者への介護に関する研修会、介護関係者への医療に関する研修会等を行う。



【事業実績】

- 次のとおり医療・介護関係者の研修を実施した。

■平成28年度研修会

1	11月5日	がん市民講座	保健所主催	一般13人 関係者30人 講師3人 計46人
2	1月26日	在宅医療カンファレンス	医師会主催	関係者 91人参加
		・事例を通して、看取りを支える連携を考える～在宅に移行できなかった肝細胞癌・直腸癌の一例～ ・在宅での持続皮下注射～バルーン式インフューザーの使い方～		
3	3月11日	薬剤師会市民公開講座	薬剤師会主催	
		さあはじめよう在宅		

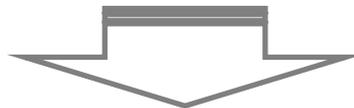
【課題等】

- 各分野の新規参加者を増やせるよう周知徹底を要する。
- 医療と介護における連携のより一層の充実のため、希望される研修会等の検討・実施を要する。

地域住民への普及啓発（第6期計画P45）

【計画内容】

- 在宅医療・介護に関する講演会開催、パンフレットの作成・配布等により、市民の在宅医療・介護連携の理解の促進を図る。



【事業実績】

- 「高齢者お助けかわら版」の全戸配布、各研修会の広報掲載による案内、パンフレット作成・配布等により実施した。

【課題等】

- 終末期ケアや在宅での看取りに関連した情報提供について周知徹底を要する。

在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携（第6期計画P45）

【計画内容】

○複数の関係市区町村が連携して、広域連携が必要な事項について協議を行う。



【事業実績】

- 次のとおり各種連携会議等を開催した。
 - ・中空知保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療領域検討会議（年1回）
（滝川、砂川、新十津川、雨竜）
 - ・滝川保健所管内で在宅医療・介護連携に関する現状報告会（年数回）

【課題等】

- 広域的な取り組みを要する課題やニーズについて、整理・検討を要する。

認知症予防の普及啓発事業（認知症介護予防講座）（第6期計画P46）

【事業概要】

- 認知機能低下予防の考え方や日常生活で取り組みやすい効果的な認知機能低下予防対策など認知症に関する知識の普及啓発を行うため、依頼に応じた出前講座等も含め認知症介護予防講座や講演会を開催します。

【計画内容】

- 認知症介護予防講座や講演会による普及啓発のほか、認知症に関する相談が増加していることから、認知機能低下を早期に発見するためのアセスメントツールの導入を進め、訪問など早期対応を図ります。



【事業実績】

- 次のとおり普及啓発事業を実施した。

■認知症予防講座等の開催状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開催回数	21回	3回	24回
参加者数	398人	66人	458人

※平成26年度は「すっきりいきいき頭の健康教室」として、「くもん脳の健康教室」教材を活用し、簡単な「読み」「書き」「計算」を行う教室を開催した。

※平成27年度は出前講座や介護予防講演会として実施した。

※平成28年度は一般市民や老人クラブ参加者を対象に講座を開催。老人クラブでは、講話と脳トレ体操をセットで実施した。

■普及啓発活動

- ・9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて9月を認知症普及啓発月間として活動を実施した。

※平成27年度は市民ロビーで物忘れ相談プログラム体験会を実施した。

※平成28年度は認知症に関する講演会、料理教室、図書館ロビーでの図書カフェを実施した。

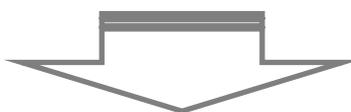
【課題等】

- 認知症についての関心が高く、教室への参加者も増えているが、一部の人に限定されていることから、今後においてより一層の普及啓発を図り、早期発見・早期治療を呼び掛けていくことが重要

認知症予防事業（第6期計画P46）

【計画内容】

- 認知症予防教室の全市的な展開を図るため、地域交流の場にもなっている介護予防講座や地域体操教室を活用し、日常生活の中で参加者が継続して取り組めるような認知症予防メニュー（歩行、人と会う、対話、音読等）を実施し、介護予防効果とともに認知症予防効果を高めます。



【事業実績】

- 地域体操教室、老人クラブにおいて、認知症サポーター養成講座と併せて、物忘れ相談プログラムを活用した物忘れチェックを実施した。

	平成27年度		平成28年度	
	回数	延人数	回数	延人数
老人クラブ	22回	262人	2回	12人
地域体操教室	4回	48人	3回	37人

- 平成28年度から、老人クラブを対象に、認知症予防出前講座を実施し、講話と簡単な脳トレ体操を行っている。

	平成28年度	
	回数	延人数
認知症予防出前講座	20回	300人

- 平成29年度から、地域体操教室で「しゃきしゃき百歳体操」等、認知機能低下予防の運動を地域の取り組みやすい方法にて開始

【課題等】

- 定期的集まる場所で、認知機能低下予防の取り組みが始まったことから、取り組みを継続しながら、早期発見・早期治療へつながるような働きかけが重要
- 老人クラブの認知症予防出前講座や地域体操教室の茶話会等の機会を活用し、認知症の早期発見・早期治療の重要性についてより一層のPRを要する。

認知症初期集中支援チームの設置（第6期計画P46）

【計画内容】

- 認知症の人やその家族に早期にかかわる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに設置し、早期診断・早期対応の支援体制の構築を推進します。

支援チームにおいては、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、観察・評価、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートに取り組めます。



【事業実績】

○滝川市認知症初期集中支援チーム 平成 28 年 2 月 1 日設置した。

■チーム員構成

- ・チーム員：認知症看護認定看護師（滝川市立病院看護師）、
保健師・社会福祉士（地域包括支援センター）
- ・認知症サポート医：滝川市立病院精神神経科医師
- ・その他：認知症地域支援推進員、介護福祉課職員、介護支援専門員（随時）

■認知症初期集中支援チーム会議開催状況

	平成 27 年度	平成 28 年度
会議開催数	1 回	1 2 回
検討事例数	1 例	1 1 例

■支援結果

項目	人数
精神科受診	2 人
内科受診	1 人
かかりつけ医で継続	6 人
入院	2 人
未受診	1 人

■その後の経過

項目	人数
施設入所	2 人
介護サービス利用	4 人
継続訪問	6 人

【課題等】

○認知症初期段階の人ほど発見が難しく、重度化してはじめて相談・検討に至ることが多いことから、認知症初期集中支援チームでの検討により成果が出た事例等について PR を行い、さらなる早期発見につなげるよう努める。

認知症地域支援推進員の配置（第 6 期計画 P 47）

【計画内容】

○認知症疾患センターなど医療機関、介護サービス事業所、認知症サポーターなどの連携支援、物忘れ症状のある方やその家族等への専門的な相談・助言、医療機関へ受診や介護サービスの利用が困難な方への支援等を行うため、平成 27 年度に「認知症地域支援

推進員」を地域包括支援センターに配置します。



【事業実績】

- 平成 27 年 4 月 1 日から、認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置した。認知症普及啓発活動、認知症予防講座、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターフォローアップ、認知症カフェ支援、認知症の方とその家族の相談支援、認知症ケアパス作成、認知症初期集中支援チーム会議参加、個別相談、訪問指導等の認知症施策について担当

【課題等】

- 若年性認知症者とその家族の支援について、ノウハウの蓄積等を図り取り組みの検討を要する。

物忘れ発見プログラムの活用（第 6 期計画 P 47）

【計画内容】

- アルツハイマー型認知症の早期発見を目的に、ゲーム感覚で気軽に評価ができる専用機器を導入し、高齢者の集まる場所などで活用し、早期発見・早期対応に努めます。



【事業実績】

- 次のとおり物忘れ相談プログラムを活用した認知症チェック等を実施した。

■物忘れ相談プログラムを活用した認知症チェック

	平成 27 年度		平成 28 年度	
	回数	人数	回数	人数
地域体操教室・町内会	7 回	88 人	3 回	37 人
老人クラブ	22 回	262 人	2 回	12 人
認知症カフェ	3 回	70 人	3 回	7 人
市民ロビー・図書館ロビー	1 回	41 人	1 回	8 人
市立病院・保健センター	2 回	28 人	7 回	133 人
合 計	35 回	489 人	16 回	197 人

■物忘れ相談

平成 28 年度から、月 1 回定例で物忘れ相談プログラムより詳しいプログラム（T-DAS）を活用した個別相談を実施した。

	平成 28 年度
回数	11 回
人数	31 人

【課題等】

- 早期発見・早期治療が重要であることから、出前講座や認知症サポーター講座と組み合

わせて物忘れ相談プログラム体験を実施するなど、自覚症状の有無に関わらず多くの人が認知機能のチェックを行うような取り組みの検討を要する。

認知症ケアパスの作成と普及（第6期計画P47）

【計画内容】

- 認知症の人とその家族に、生活機能障がい進行に併せ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのか、具体的な機関名やケア内容等を提示する「認知症ケアパス」を作成し、その普及に努めます。



【事業実績】

- 滝川市認知症ガイドブック（認知症ケアパス）を作成し、関係機関に配布したほか、市役所・江部乙支所の窓口への配置や市ホームページへの掲載による周知を実施した。

【課題等】

- 認知症の方とその家族が在宅生活を安心して過ごせるよう「認知症ケアパス」のより一層のPRを要する。

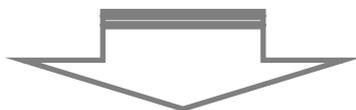
認知症サポーター養成事業（第6期計画P47）

【事業概要】

- 「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成します。

【計画内容】

- 「認知症サポーター」とその養成講座の講師となる「キャラバンメイト」の養成を強化し、その人口割合を全国・全道の4%を目指します。
キャラバンメイト講習の受講を介護事業所へ働きかけるなどキャラバンメイトの拡大とともに、各地域でのサポーター養成講座の開催や小中学生への受講PRなどにより、サポーターの養成に取り組みます。



【事業実績】

- 次のとおり認知症サポーター養成事業を実施した。

■ 認知症サポーター養成講座開催状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開催回数	10回	16回	24回
養成人数	192人	356人	626人

※平成29年4月現在 認知症サポーター数は2,258人

■ オレンジ倶楽部（認知症サポーター養成講座受講者への研修・懇談）参加等状況

	平成27年度	平成28年度
登録者数	8人	30人
回数	2回	3回
参加人数	7人	27人

※オレンジ倶楽部のメンバーは老人クラブ出前介護予防講座での運動指導や普及啓発月間の図書カフェ運営に参加した。

■ おれんじ通信（通信誌）を発行 平成28年度 計3号発行

【課題等】

- 総人口に占める割合は 5.628%と当初の目標数値は達成しているが、全国 6.480%・全道 6.248%となっており、今後においてもさらなる養成事業の充実を要する。
- 若い世代に対しての講座開催が進んでいないことから、実施方法等の検討を要する。
- 一度受講した人を対象に行うステップアップ研修について、事業所・団体等と相談の上で実施の検討を要する。

滝川市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業の推進（第6期計画P48）

【事業概要】

- 認知症高齢者の徘徊（はいかい）を早期発見し、事故を防止するため、関係機関と連携し、連絡ネットワーク体制を構築しています。

【計画内容】

- 今後、認知症高齢者数の増加が見込まれることを踏まえ、SOSネットワークのPRに努め、徘徊（はいかい）の危険のある高齢者等の早期の登録を推進します。



【事業実績】

- SOSネットワーク実施状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
登録者数	74人	90人	99人
検索回数	8回	8回	2回

【課題等】

- ケアマネージャーや事業所等と連携の上、登録者数の増加に努める。

認知症ケア向上推進事業（第6期計画P48）

【計画内容】

- 病院・介護保険施設などの職員の認知症対応力を高める研修の実施のほか、「認知症カフェ」を開設し、認知症の人や家族に対する支援などに取り組み、地域の認知症ケアの向上を推進します。



【事業実績】

○認知症カフェ実施状況

	平成27年度		平成28年度	
	回数	延人数	回数	延人数
ともだちカフェ	9回	136人	12回	410人
カフェあけぼの	7回	203人	12回	530人
にんかふえ	6回	242人	12回	502人

※平成29年度から新たに2か所開催

(江部乙町一駅カフェ、屯田町一地域のお茶会 in コスモス)

【課題等】

- 認知症地域支援推進員を中心として認知症カフェの運営支援を継続し、認知症の方やその家族の相談対応に努める。
- 先進地事例の情報収集等を行い、各カフェ運営へ提供するなど、さらなる運営の充実に努める。